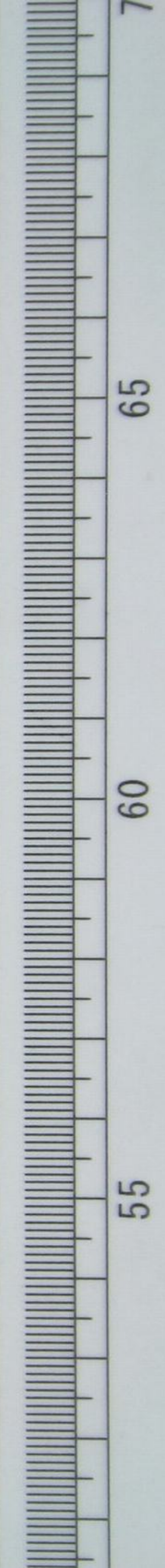


永島福太郎編輯  
島鹿兒  
戰爭日記  
後編  
七号  
辻文板



55

60

65

7

A429  
17

昨年七月十二日の事あり三浦がねの二旗園の  
隙を二もあちちの溝を

村より小林へ進する事なるを攻撃  
し一は多をたてあれし社

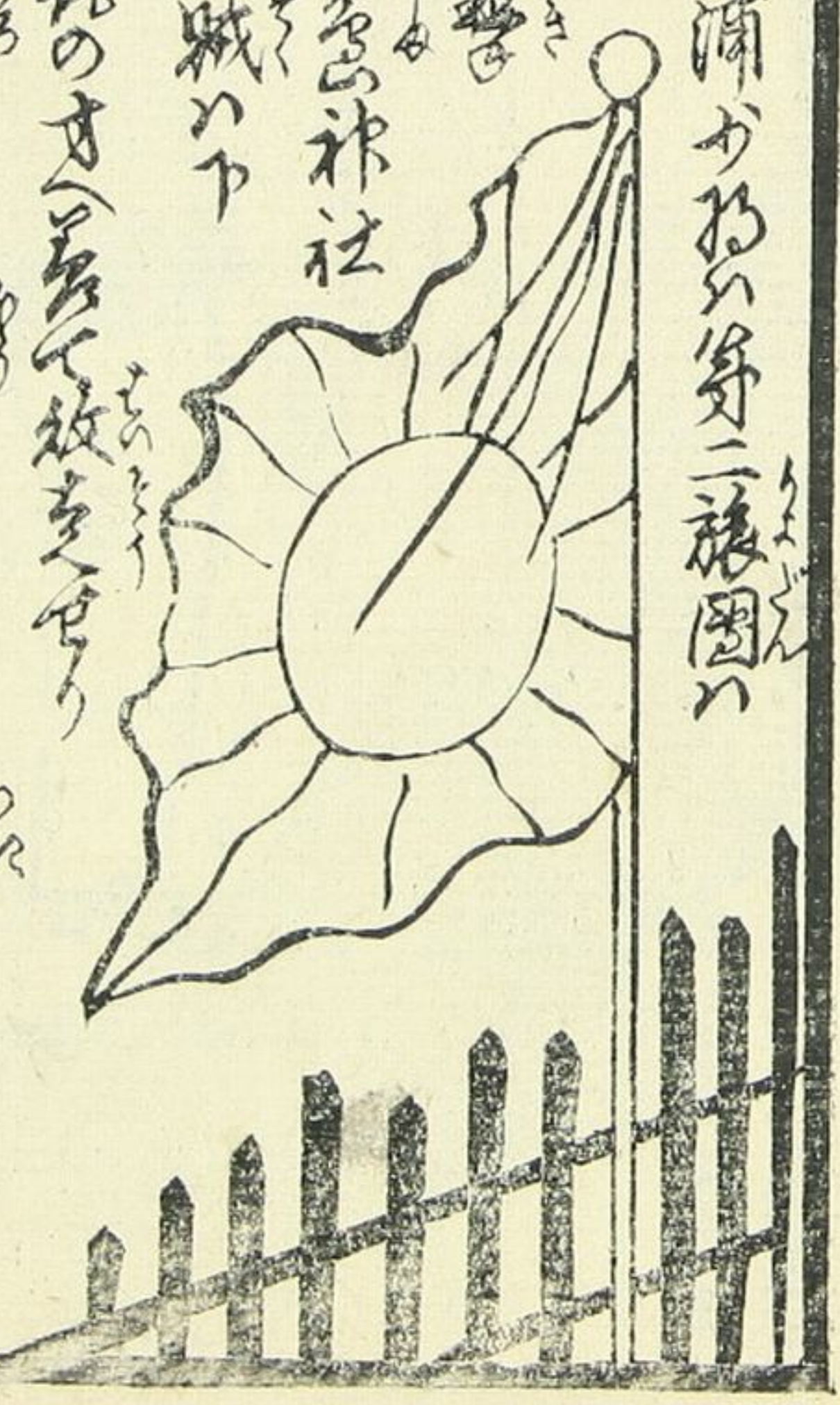
より田代の方へ進する事ありし  
觀者敵もあまあ然りし小林の事

なるものも軍の甲りくあ向ふ敵の陣のす百と突ぬれ分ハ勝  
の陣いのといへ様竹不達は賊去小林の受取を自達して退る

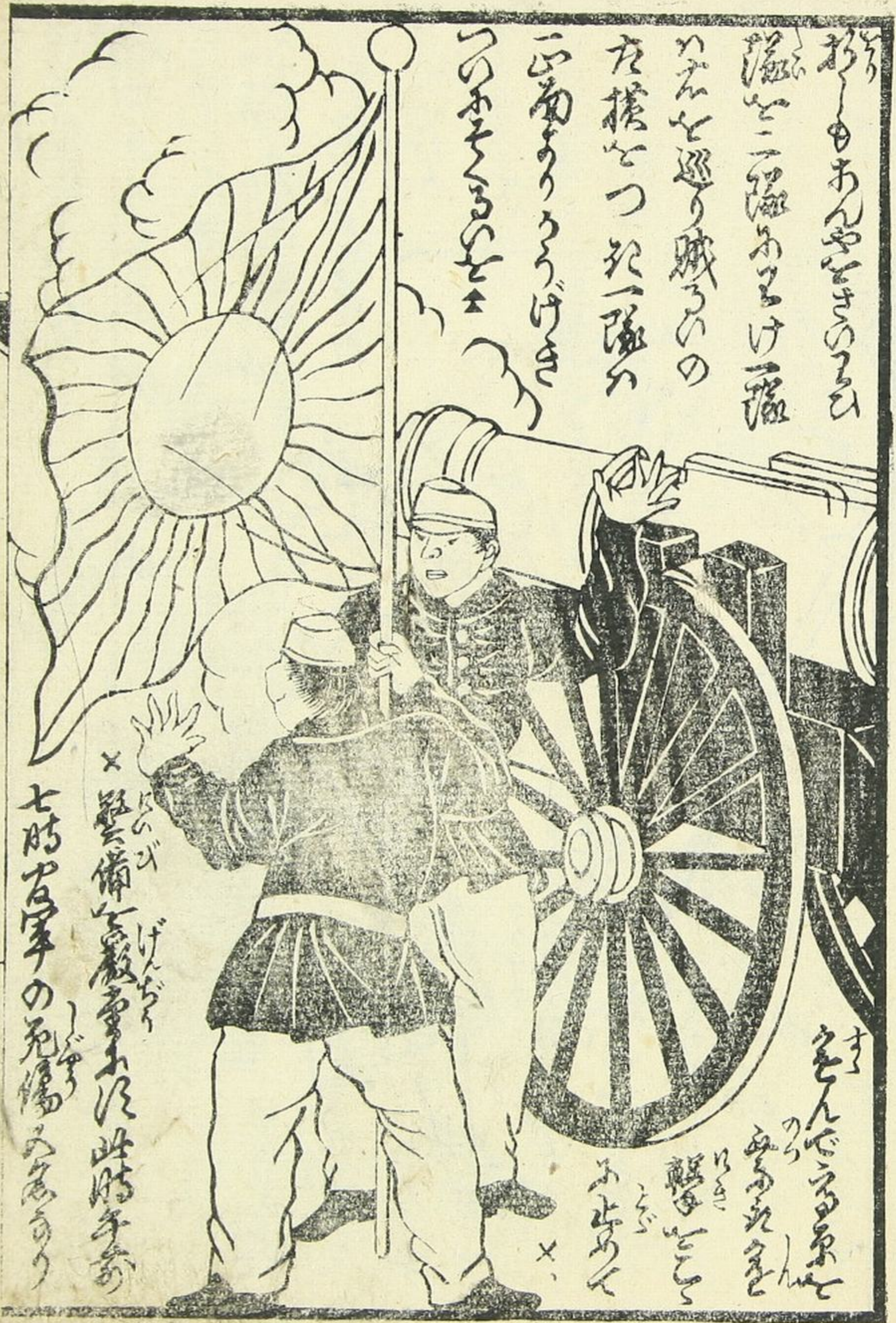
しとのとあへ事ありし一田よあ村ありし一高岸くをのどて  
賊の足跡を標信する事ありし小林の事とまて多事あ屯集りて

おれが速やう小見とて進する事ありし小林の事とまて多事あ屯集りて  
の二旗園の事とて二も別ち月十六日の事ありし二旗園の事とて

第一号



48-7893



旗もあんなに  
 旗を二階あつて  
 のを巡り賊の  
 左様をつたへ  
 二階あつて  
 のを巡り賊の

× 警備を厳重に  
 七時右軍の死傷

七時右軍の死傷  
 警備を厳重に



さんと細の村より  
 退入する  
 ありつもの  
 云より改  
 堀村一隊の  
 名を  
 賊云堀村の  
 あり  
 この  
 砲  
 友軍

七時右軍の死傷

同日午時二時に賊軍  
別働第三隊圍

の陣又大隊が  
中隊一隊荒蕪嶽  
をわたりて友軍の

のいびん

ちうちて

ぬきとあこ

りけいを通

そびて

月

大陣



△大陣

ち百の賊

を撃つ

の軍

と

改葬の

都の城の

すの

うい

す

あ



△再  
大軍を

押寄改葬の

指す

を

一隊

の

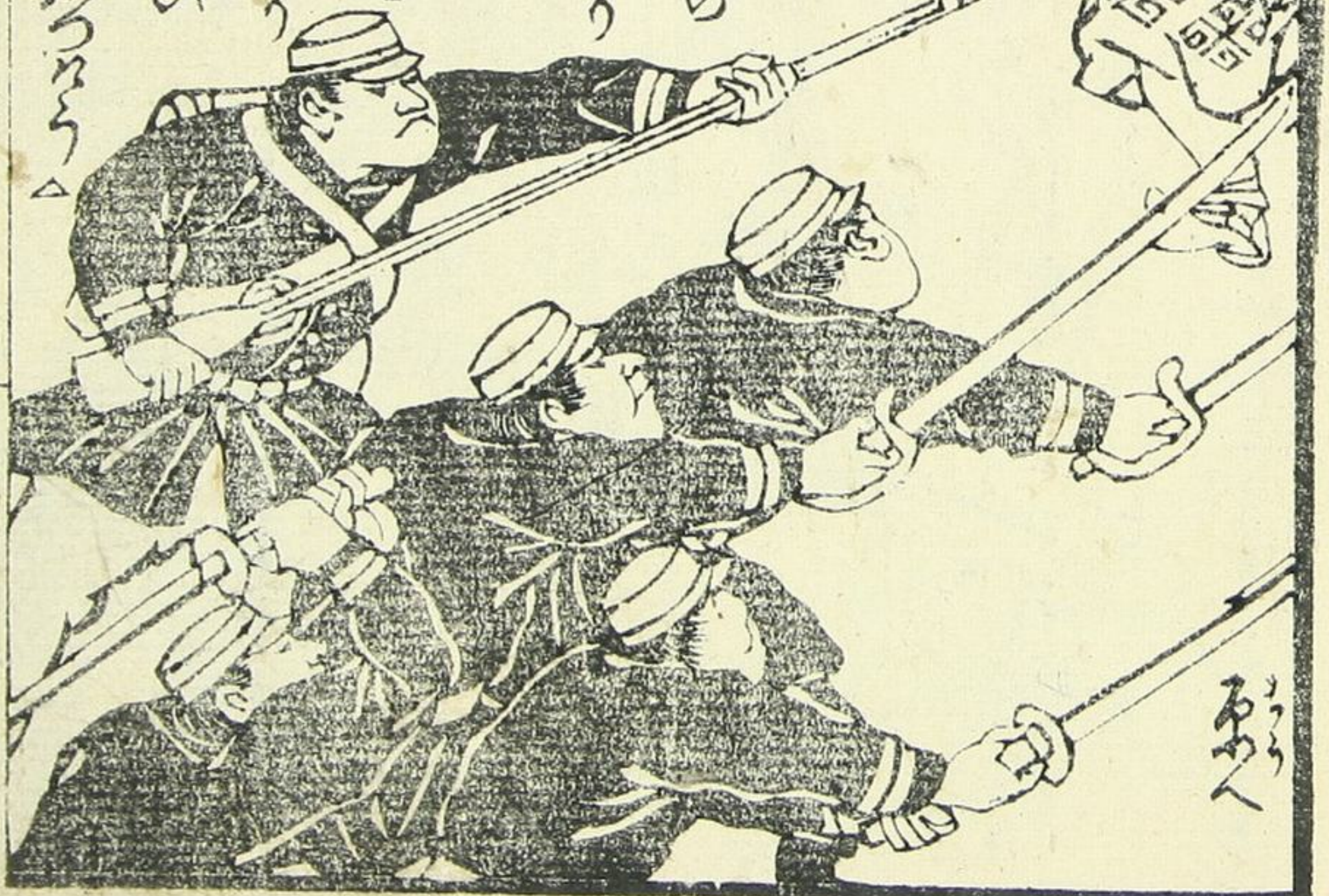
大

引退

賊軍の死傷

僅

第七号





三万余の戦  
 ありしに  
 密に小軍の  
 ありしに  
 ありしに

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

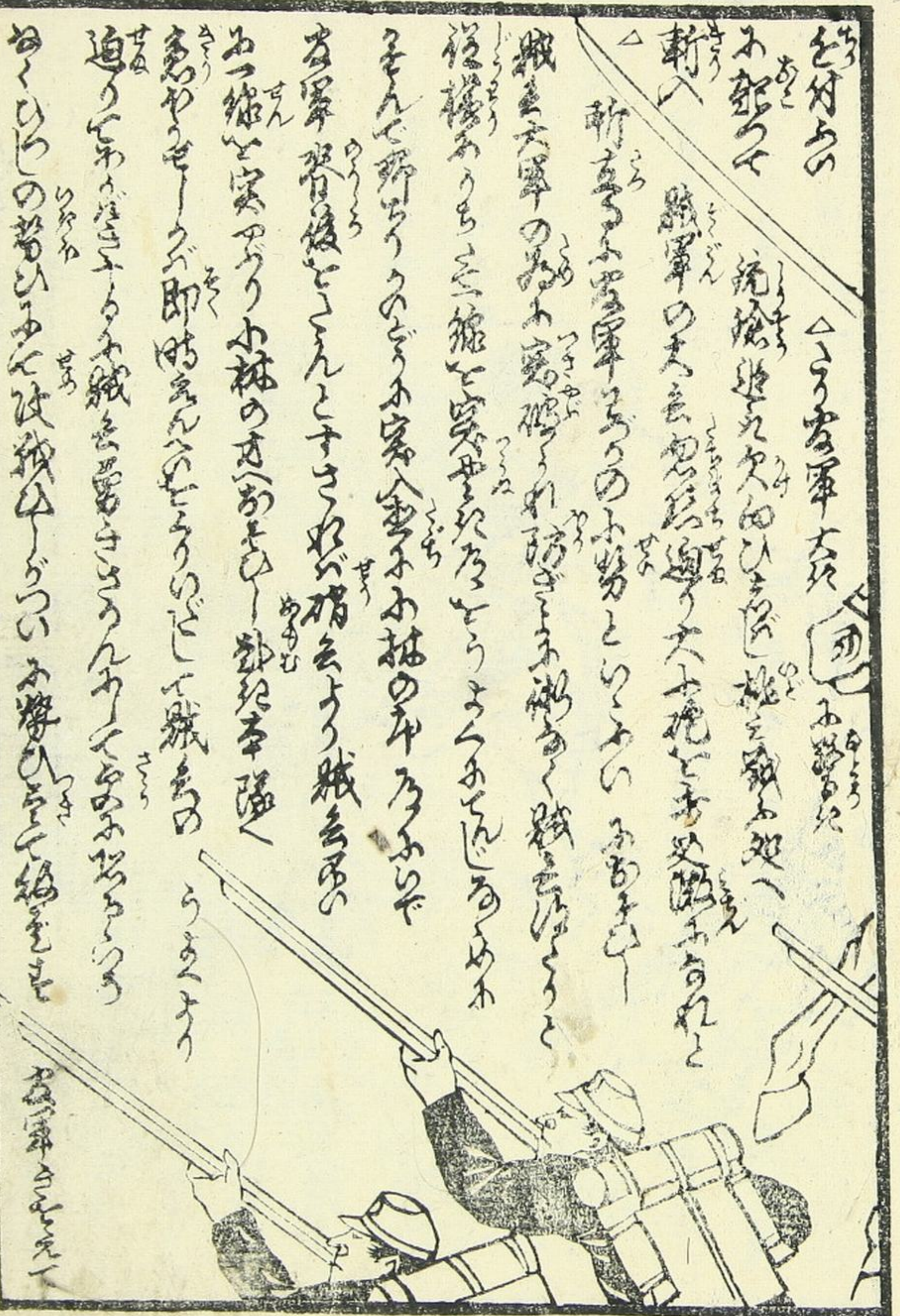
小軍の

小軍の

小軍の

小軍の

小軍の



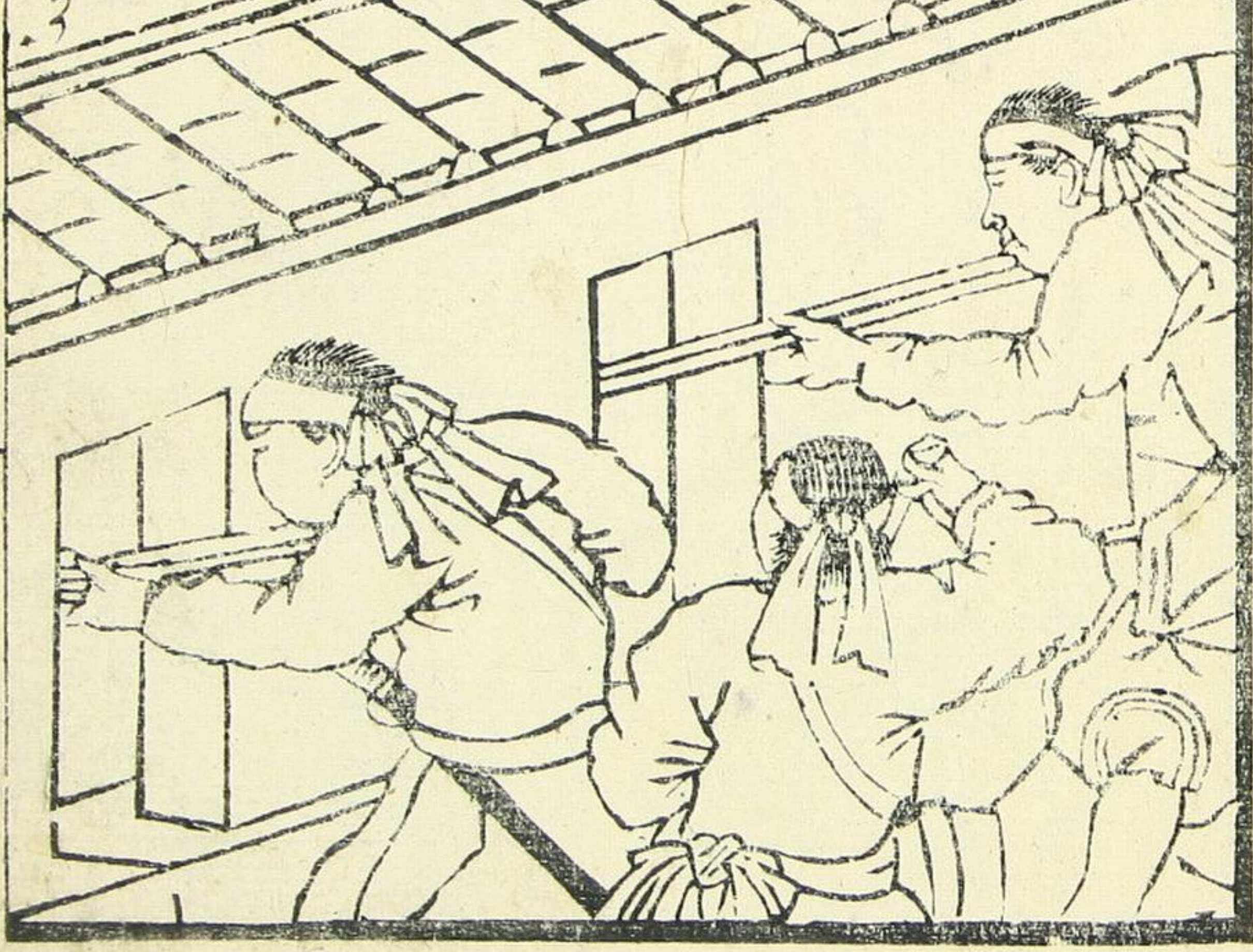


今此の戦ひは  
 敵長一人討ち死す  
 女日の輝曉より  
 三浦よりあきら  
 不捕より節風へ  
 毛撃ひつゝ敵の  
 山より屯集せり  
 敵軍を後日女  
 日の山より山の上の  
 賊軍を誘へ奉る  
 よりの下りて攻む  
 山より七つ山にわたり候



攻入又別傷  
 第三巻因  
 八段

七を宮ふりやうり又別傷  
 第三巻因のまは日女四日の  
 午後三時より集まり各々  
 一に敵軍を誘ひ日女  
 賊軍を誘へ奉る  
 敵の城へ退き日女敵の城へ  
 向ひて三巻因の田方より  
 集りて及獲す人きとの決定の  
 敵軍を誘ひ日女敵の城へ  
 三巻因に好むのひりた月女  
 敵軍一巻因のまは日女敵の城へ









まつりあふ隊二番あり  
 第一隊固く新河の  
 賊のあつた向ふ処  
 の賊とあひのけせん  
 八時なきをきり  
 けいびるは別働隊二番あり  
 後村のなきをきり  
 第一隊固く新河の  
 賊とあひのけせん  
 八時なきをきり  
 けいびるは別働隊二番あり  
 後村のなきをきり

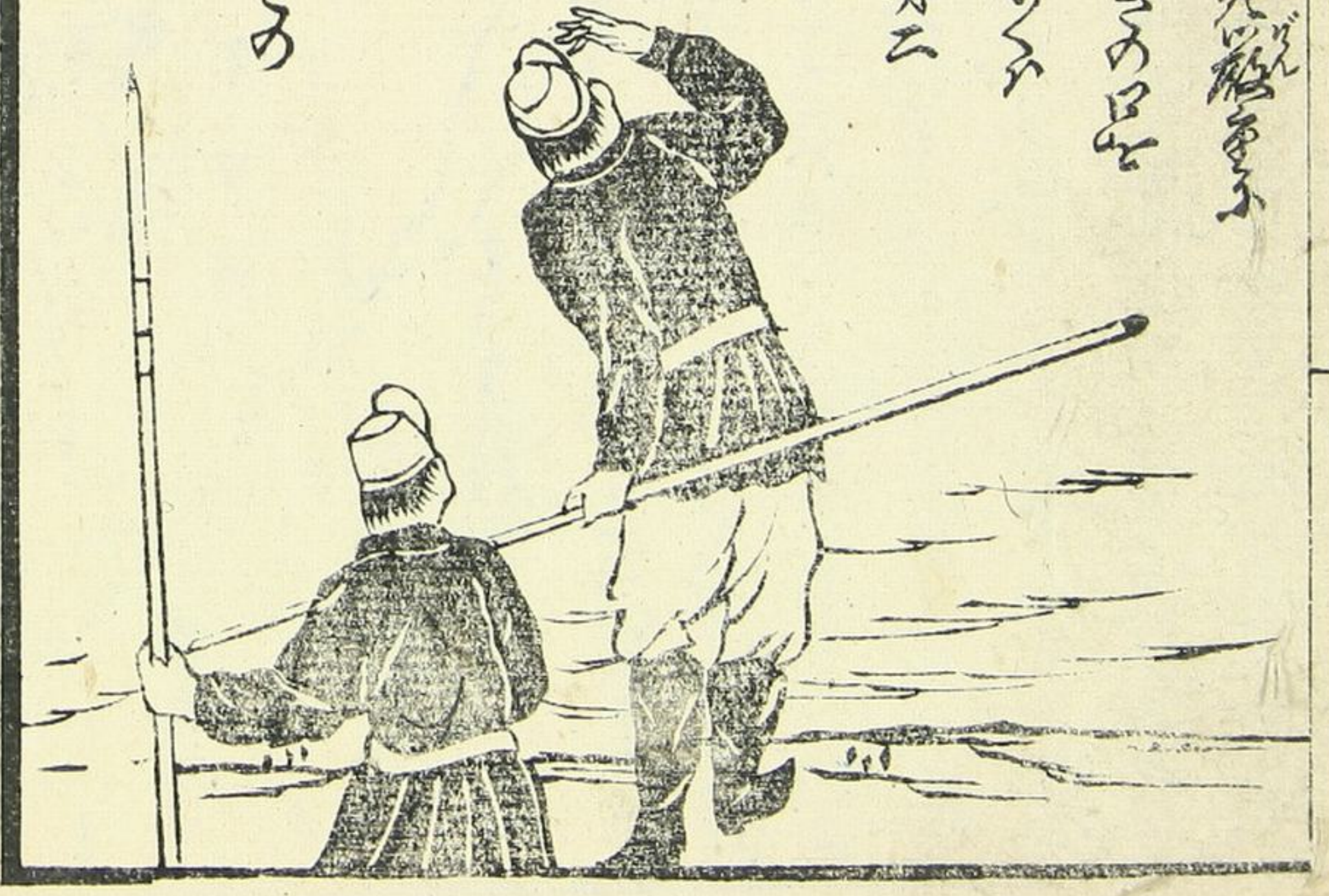
第一隊  
 の七中隊  
 別働隊二  
 後村のなき  
 八時なき  
 けいびるは  
 別働隊二  
 後村のなき

此方の川原に討陣す  
 此戦の事より別働隊二  
 後村のなきをきり  
 八時なきをきり  
 けいびるは別働隊二  
 後村のなきをきり  
 第一隊固く新河の  
 賊とあひのけせん  
 八時なきをきり  
 けいびるは別働隊二  
 後村のなきをきり

第一隊固く新河の  
 賊のあつた向ふ処  
 の賊とあひのけせん  
 八時なきをきり  
 けいびるは別働隊二  
 後村のなきをきり

谷少将  
 三好少将 野津大佐  
 第一隊  
 の七中隊  
 別働隊二  
 後村のなき  
 八時なき  
 けいびるは  
 別働隊二  
 後村のなき

湖の川と云ふ事ありて砲臺幾多と云ふは  
 防衛の事なりと云ふは  
 二番は中興の第二砲臺なり  
 第三砲臺の七甲砲臺なり  
 砲臺の事ありと云ふは  
 うの事なりと云ふは  
 よう二日の事なりと云ふは  
 あつた事なりと云ふは  
 はな事なりと云ふは  
 二番砲臺をいふなりと云ふは  
 第一砲臺をいふなりと云ふは  
 けな事なりと云ふは



010190510242

